

事務事業評価表

平成13年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(750)8030
担当部課名	生涯学習部	博物館	課	学芸班
事務事業名	その他運営費		事業コード	15110

1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	いきいきした生涯学習社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第1節	生涯学習の推進	7年度
施策名	第1施策	生涯学習機会の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

博物館法、相模原市立博物館条例、同施行規則

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
博物館の機能を維持するための経費で他事業に属さないもの、複写機等経費・各種協議会等負担金などの運営費である。なお、平成13年11月から博物館長に常勤一般職が配置され、平成14年度から館長報酬、旅費の予算を除いた。		市民	
		対象数	613000人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
歳入 複写使用料 112 千円 歳出 館長(非常勤特別職)報酬 2,290 旅費 95 需用費 消耗品費(複写用マスター、トナー、用紙等) 180 複写料金 263 年会費負担金 全国科学館連携協議会負担金 10 日本プラネタリウム協会負担金 15 神奈川県博物館協会負担金 42 日本博物館協会年会費 40		なし (5) 個別計画の概要 計画名 なし 計画年次 年度~年度 なし	

4 評価指標

指標名	有料複写サービスの使用増加率		
指標式	(市民利用等の有料複写サービスで使用された用紙の枚数 / 予想した使用用紙の枚数) × 100		
指標設定の意図	前年度実績で複写費用の歳入見込みを立てており、前年に対する市民利用の増減が分かるため、使用頻度の指標となる。		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	315	142	a 131	b 100	100	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	4,694	4,220	2,947	4,275	557
	人員・時間数	1.0人/年・人	1.0人/年・人	1.0人/年・人	1.0人/年・人	1.0人/年・人
	人件費	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300
	その他経費					
	合計	6,994	6,520	5,247	6,575	2,857
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 131.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
a	131.0	c	e
b	100.0	d	f
× 100= 131.0%		× 100=	
		× 100=	

理由：

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由：	マイクロフィルム化された文献資料や専門書等の複写は施設利用の学習には有効である。協議会等の加入は施設運営上の課題や展示用資料の貸借に関して情報交換する際に必要である。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A : 妥当である	理由：	協議会等の加入については会の実際の活動実態にくらべ、年会費が高額と思われるものがある。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由：	複写サービスは、複写できる範囲を博物館資料や館内図書に限定しているので、代替の可能性はない。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由：	複写サービスは来館者には大変喜ばれている。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由：	生涯学習の推進が上位の施策であり、複写サービスはその施策に合致し有効である。また、協議会等への加入については常に加入意義やその効果を見直しながら、博物館相互に協力関係を保つことが必要である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> <p>最小の経費で最大の効果を得るための観点で事業に取り組む必要がある。</p>
	コスト改善余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> <p>職員が資料作成等で複写機を使用する年間の用紙枚数を算出できるため、各年との比較から用紙消費の無駄を省く意識付けができる</p>

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	<p>複写サービスは、市民利用の拡大を目指す一方で、職員が行う資料作成での複写は最小限にする必要がある。各種協議会等への参加は、当館の運営にプラスになるよう常に留意することで今後も継続したい。</p>	
	今後の進め方			
	<input checked="" type="checkbox"/>			継続
	<input type="checkbox"/>			見直し
	<input type="checkbox"/>			廃止
<input type="checkbox"/>	完了			

8 二次評価における変更点